



色覚のおはなし



こんにちは。花沢アイクリニック院長の梅津由子です。今回は色覚のお話をしましょう。学校で色覚検査を受けたお子さんが「色覚異常の疑い」を指摘されたとき、「やっぱり」と思われた方、「まさか」と思われた方など、さまざまでしょう。色覚異常は日常生活上、ほとんど不自由はありませんので、お子さんが小さいうちは誰も気づきません。

ときに奇抜な色使いの絵を描いても今は個性の時代です。ゴッホやウィリアム・ターナーなどの有名な画家も色覚異常だったといわれています。個性ととらえて伸ばしていくのもひとつの生き方です。

お子さんが色の混同をすることも、ときにあるでしょう。色覚異常は治療で治るというものではありませんが、周りの社会は色覚異常に配慮した環境にゆっくりですが変わりつつあります。焦らずに見守ってあげてください。

人間の目の網膜(もうまく)には2種類のセンサーがあります。1つは「杆体(かんたい)」というセンサーで、明るさに非常に鋭敏に反応しますが、色の知覚には関与していません。もう一つが「錐体(すいたい)」というセンサーで、色を見分けたり、細かいものをみたりするものです。裏面の色の話にもありますが、錐体には、緑の光に主に反応する「M-錐体」、赤の光に主に反応する「L-錐体」、青の光に主に反応する「S-錐体」があります。

色覚異常は網膜にあるこれらの錐体の異常が原因です。M-錐体(緑錐体)に異常があると2型色覚、L-錐体(赤錐体)に異常があると1型色覚です。S-錐体(青錐体)の異常は非常にまれです。

<2型色覚> M-錐体(緑錐体)の機能不全、あるいは欠損。

日本人男性の4%弱。

黄緑と橙、緑と茶や灰色、青と紫、ピンクと灰色などを混同しやすい。緑は普通の明るさに見え、薄暗くはならない。

<1型色覚> L-錐体(赤錐体)の機能不全、あるいは欠損。

日本人男性の1%強。

上記の2型色覚の色混同の特徴に加え、ピンクと水色も混同しやすい。赤が薄暗く見える。

色覚異常の人は見分けにくい色でも、色以外の手がかりを巧みに利用して、色を判断する能力が経験とともに備わってきます。自分の経験した情報を活用しながら色の判断ができるようになるこの代償能力は、自分の感じている色とほかの人が感じている色が違うということを実感して初めて芽生えてくるものです。



目玉いきいきライフ

目玉いきいきライフのコーナーでは、目の健康に関する情報や、耳より情報（眼科だけどっ）をお届けします。



色のしくみ～なぜスイカは赤いの？2～

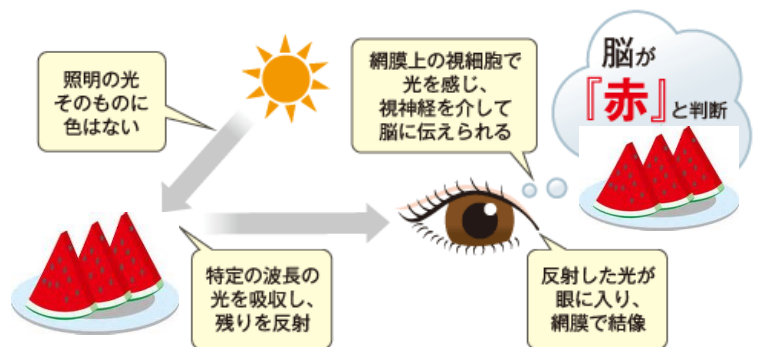
目はどのようにして光のエネルギーから「色」を判断しているのでしょうか？スイカに光が当たると、赤以外の光のエネルギーはスイカが吸収します。吸収されなかった赤い光のエネルギーはスイカから反射され目に入ってきます。

しかし、この段階では、スイカが赤いということはまだわかりません。この光のエネルギーを感じとるのが、目の網膜というところに分布している『視細胞』と呼ばれる細胞です。この『視細胞』は大きく分けて2種類あり、明るい所で働く『錐体』と、暗い所で働く『杆体』とがあります。私たちが色を感じることができるのは、『錐体』の働きによるもので、赤・緑・青の光のエネルギーを感じる3種類の錐体があります。

『光の三原色』を知っていますか？光の三原色とは、赤・緑・青の3色があれば、ほぼすべての色が再現でき、3色すべて混ぜ合わせると白になると言われています。人間には、この赤・緑・青の光のエネルギーを感じる錐体があることで、すべての色が再現できるのです。

スイカから反射された光のエネルギーを3種類の錐体を感じ取り、それぞれの錐体を感じたさまざまな光のエネルギーの強さを電気信号へ変換し脳へ伝えます。

脳は錐体から送られてきた電気信号の強さの比率から、スイカが赤いということがわかるのです。



コンタクトレンズ定期検査のススメ。

コンタクトレンズをお使いの皆さん！正しくレンズを使っていますか？装用期間を超えて使用したり、レンズをつけたまま寝てしまったりすることはありませんか？自覚症状がなくても目の病気が発見されたり、視力が低下していたりすることがあります。定期的に目の検査を受けて、レンズのコンディションや目の健康状態をチェックしてもらいながら、安全にコンタクト

がんばれ日本！
目玉いきいきライフ！



編集後記

紫外線が強いこの時期、お肌が気になる方に耳寄り情報♪平日限定でプラセンタドリンクの試飲ができます！ピーチ味で濃厚、冷蔵庫で冷やすとひんやり飲みやすい♪ぜひ気軽にお試しください！人ぼくみたいにプルプルになるよ♪(°▽°)

ビビ・ブッチ・まめちよ

